

公表

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8 年 2 月 16 日			
瑞浪市子ども発達支援センターぽけっと					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ 個別的支援及びグループ活動ができるスペースを確保している。 ・ 運動、言語、社会性等の発達支援ができるよう環境整備を行っている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・ 管理者、児童発達支援管理責任者、有資格者を配置している。 (児童指導員、保育士、社会福祉士等) ・ 基準人員以上の職員配置をしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・ 安全面や移動面の配慮をした施設設備になっている。 (エレベーターの設置、段差のない玄関、階段、トイレ等に手すりを設置。)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・ 清掃・玩具整理等を、毎日行っている。 ・ 定期的に清掃業者による清掃を行っている。 ・ 引き戸にする等、安全面に配慮している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・ 個別で利用できる指導室を用意している。 ・ 子どもの状態や保護者の相談等により、指導者や管理者が使用することができる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・ 年度始めに業務目標を設定している。 ・ 定期的に職員会等で話し合い、その都度改善を行なっている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 毎年、保護者アンケートを実施。施設面、指導面、衛生面、行事等についての意見を受けている。結果を受けて改善を行なっている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 職員会等の中で、指導や行事に関しての気づきを話し合う時間があり、意見を受けて活動内容や支援について検討、改善を行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・ 運営委員会にて各関係機関より助言を受けている。 ⇒運営委員：福祉、保健、保育、教育、学識経験者等 ⇒内容：活動や実績等について報告、支援・ケース検討等 ・ 自主研究会（公開療育）で、保育、教育、療育等の関係機関の助言がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ 自主研究会を実施。 ・ 福祉制度、発達障害に関する研修等を受けている。 ・ 東濃地区障害幼児研究会に参加している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ 公表されている指導プログラムに沿った支援を行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・ 保護者面談を行い、親子のニーズを受けつつ、発達支援課題を整理し、個別支援計画を作成している。 ・ アセスメントの内容（成育歴、保護者心理やニーズ、家庭の様子、集団生活の様子、各発達課題についての把握、指導方針、指導目標等）をもとに作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ 子どもの担当職員が参加し、指導時の様子や子どもの困り感、好きな活動等のストレングスの視点も持って、保護者の思い等も踏まえた検討を行っている。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・子どもの実態やニーズ、保護者ニーズにそった計画を作成し、支援提供できるようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・各種検査結果を参考にしている。 ・発達特徴等を考慮し、実態把握を行っている。 ・各発達領域、家庭、集団生活の把握等も行っている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿った計画作成に努めている。 ・就学後の支援として、教育委員会、学校と連携し、学校訪問等を行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・支援の方向性、支援内容等について、職員会で話し合っている。また、指導前後に情報交流等を行い、振り返りも踏まえて支援につなげている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・子どもの実態やニーズ、保護者ニーズに合わせて、対応している。 ・机上活動（制作や書字）、運動、ことばに関する事等の各種の遊びや活動を提供している。 ・子どもの社会性に合わせ、大人との関わり、仲間遊び、集団活動等を提供できるようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の発達状況に応じ、個別・集団活動を組み合わせている。子どもそれぞれの参加の仕方を検討している。コミュニケーション面への目標を取り入れた支援計画を作成している。 ・集団参加や、学校との連携等についても記載している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・職員間で、支援内容や目的についての話し合いや確認をしている。配慮する点や、担当児への支援についてのポイント等を共有している。 ・打ち合わせに基づき、環境設定等準備を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援記録作成時等に、情報共有している。 ・子どもの行動の意味や心理、仲間関係等について話し合っている。職員間での共有・考察をもとに、次回の支援内容に活かすようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援終了後に、支援記録を作成している。 ・保護者からの聴き取り、学校との連携等を、その都度記録している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的なモニタリングを行ない、計画の見直しについて検討している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・子どもの発達実態やニーズに添った支援を提供している。ガイドラインとリンクした支援になるよう、プログラムを作成している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動の内容の提案、参加の有無を確認することや、様子をうかがう中で気持ちの代弁等の支援をし、自己選択の尊重、自己表現につながるよう支援をしている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理責任者、担当職員で対応している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校訪問の実施や、東濃圏域発達障がい支援センターとの情報共有等をし、子どもや家庭を取り巻く関係機関で、必要に応じて随時連携をとりながら支援を行うようにしている。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校連絡会、学校訪問等を行い、子どもの情報を共有している。</li> <li>・必要に応じて、随時学校との連絡、情報共有している。</li> <li>・相談支援事業所や学校主催のケース会議に参加している。</li> </ul>
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援からの継続児が多く、乳幼児期の発達等の把握ができています。</li> <li>・同様に、こども園等との情報共有もできています。</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの依頼があれば、情報提供できるよう資料を整えている。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害に関する事、各種支援方法等についての研修を受けている。</li> <li>・各専門機関と連携体制が取れている。</li> <li>・自主研究会実施の際に、専門家(精神科医等)から助言を受けている。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等を通して、地域の人や兄弟等との関わりを持つ機会がある。</li> </ul>
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞浪市地域総合支援協議会、こども部会に参加している。</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後に、保護者との情報交流や話し合いを個別に行っている。子どもの支援方法や生活状況等の共有をしている。</li> </ul>
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での接し方等、家庭生活の充実に向けて、話し合っている。保護者同士が関われるように、配慮している。</li> <li>・施設内でペアレントトレーニングの実施を行っている。</li> </ul>
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に重要事項説明書を使って説明している。</li> </ul>
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後の話し合いやモニタリングの中で、現状の困り感や意向について確認するようにしている。</li> </ul>
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容や目標等について、保護者に説明をし、同意を受けている。</li> </ul>
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後に話を聞く時間を設けている。保護者ニーズに添った話し合いができるように、個別で対応している。</li> <li>・保護者の精神的安定や納得ができるように心掛け、継続的な支援の中で見守りをしている。</li> </ul>
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流や連携ができるよう、家庭の悩みに応じた保護者座談会を行っている。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情窓口を設置し、苦情受付担当者、苦情解決責任者を配置している。</li> <li>・その他の苦情受付機関（岐阜県運営適正委員会）についても、契約書及び重要事項説明書で紹介、施設内に掲示している。</li> </ul>

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・お便りを、月に一回発行。社会福祉協議会HPに掲載している。その他、必要な連絡事項等については適宜対応している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・利用契約書第8条の3に応じて対応している。 ・保護者の同意に基づいた情報提供をしている。 ・個人情報保管に対しセキュリティ体制を整備している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・子どもの持っている能力や発達の特徴を理解し、子どもの気持ちを尊重する事を心掛けながら、コミュニケーションを図っている。 ・支援記録等の表示の仕方等、保護者のニーズに合わせて行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・行事の参加に対して、地域関係者、学生、民間団体等のボランティア協力がある。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・各種対応マニュアルを作成している。（契約書、重要事項説明書等に記載） ・各種マニュアルは掲示、閲覧の用意をしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・定期的にBCPの研修・訓練を実施している。 ・火災通報、緊急時の避難誘導等の訓練をしている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・アセスメントの際に把握している。 ・随時、保護者との話し合いにより確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・食事提供なし。 ・子どもの健康状態を把握し、子どもの体調等にあった対応をしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画を作成し、計画に沿って定期的に研修、訓練を行っている。 ・関連マニュアルも閲覧できるように用意している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・指導開始時や、年度初めに安全計画について説明を行い、紙面での配布も行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・危険な場所等を確認し、対応している。 ・随時ヒヤリハットの記録をし、職員間で対応について検討、共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・虐待防止に関する研修を定期的に行っている。職員間で情報を共有している。虐待防止委員会を設置し、責任者、虐待防止マネージャーを配置している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・職員で身体拘束について研修している。 ・身体拘束を行う必要がある場合は個別支援計画に記載することとしている。